

乳児期からのステロイド使用と夜泣きを経て症状がみられなくなった小児アトピーの経過 (14 歳 男児)

症例 ID：001-14-KK | 記録日：2014 年 10 月 31 日

1. 診断・治療前経過

生後間もなく顔、膝裏、肘にかゆみと湿疹が出ました。ワセリンとステロイドを混合した外用薬を約 3 年間使用しました。

塗ると一時的に落ち着くものの数日後に悪化し、毎晩の夜泣きで親子とも睡眠不足となりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ワセリンとステロイドを混合した外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 3 年間です。
中止時期	松本医院での治療開始時期と考えられます。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期	発症	顔、膝裏、肘にかゆみと湿疹が出ました。
約 3 年間	外用継続	ステロイド混合薬で一時的に落ち着いては再燃する状態が続きました。
治療開始後数日	リバウンド	消毒時の痛み、強いかゆみ、不眠がみられました。
治療経過中	長期経過	家族の支援のもと遠距離治療を続けました。
14 歳時	経過後	皮膚症状はみられなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、乳幼児期に夜泣きと強いかゆみが続いた時期、および治療開始後に消毒時の痛みとかゆみで眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 毎晩の夜泣きで、親子とも睡眠不足となりました。
- 遠距離での通院と日々の処置が必要でした。

6. 経過のまとめ

治療開始後は痛みや不眠を伴う時期がありましたが、長期の経過を経て、14 歳時には皮膚症状がみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。